



平成 25 年 4 月 12 日

各 位

東京都品川区南大井 6 丁目 28 番 12 号
 会社名 株式会社 大庄
 代表者名 代表取締役社長 平 辰
 (コード番号 9979 東証第 1 部)
 問合せ先 専務取締役 水野 正嗣
 (TEL 03-5764-2229)

第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 10 月 15 日に公表した平成 25 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異および修正について

(1) 連結

第 2 四半期累計期間連結業績予想値との差異 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	39,200	1,050	970	500	24 円 17 銭
実績値 (B)	38,546	594	535	48	2 円 37 銭
増減額 (B-A)	△654	△456	△435	△452	—
増減率 (%)	△1.7	△43.4	△44.8	△90.4	—
前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 8 月期第 2 四半期)	39,114	1,014	898	620	30 円 77 銭

通期連結業績予想の修正 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	78,200	2,300	2,150	925	44 円 72 銭
今回修正予想 (B)	77,600	1,800	1,700	525	25 円 38 銭
増減額 (B-A)	△600	△500	△450	△400	—
増減率 (%)	△0.8	△21.7	△20.9	△43.2	—
前期実績 (平成 24 年 8 月期)	78,014	2,230	2,059	884	43 円 29 銭

(2) 個別

第 2 四半期累計期間個別業績予想値との差異 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	35,050	1,000	950	600	29 円 01 銭
実績値 (B)	33,923	536	483	38	1 円 88 銭
増減額 (B-A)	△1,127	△464	△467	△562	—
増減率 (%)	△3.2	△46.4	△49.2	△93.7	—
前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 8 月期第 2 四半期)	35,011	980	878	765	37 円 99 銭

通期個別業績予想の修正 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	69,600	2,150	2,050	1,050	50 円 76 銭
今回修正予想 (B)	68,500	1,700	1,600	500	24 円 17 銭
増減額 (B-A)	△1,100	△450	△450	△550	—
増減率 (%)	△1.6	△20.9	△22.0	△52.4	—
前期実績 (平成 24 年 8 月期)	69,419	2,080	1,932	1,023	50 円 10 銭

2. 業績予想との差異および修正の理由

(1) 第2四半期連結業績予想値との差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州財政危機の長期化やアジア経済の成長鈍化に端を発した世界経済の減速や円高継続による輸出不振などが懸念材料となっておりますが、12月の政権交代以降は、金融緩和政策に対する期待などにより急速な円安が進み、株価も急上昇するなど、消費者や企業のマインドも確実に改善傾向を示し、景気回復の期待感が高まる状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業での収益力の安定基盤づくり」を最重要経営課題として認識し、「既存店舗対策の強化」を中心に様々な施策に取り組みました。

しかしながら、取り巻く環境が想定以上に厳しかったこと等もあり、既存店売上高が公表計画（対前年比100%）に対して97.8%と減少したことが大きく影響し、売上高は前回予想を下回りました。また、売上高減少により売上総利益額が減少したことが大きく影響し、営業利益、経常利益とも前回予想を下回りました。さらに、当期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加要因も加わったため、前回予想を下回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

通期につきましても、第2四半期の業績を勘案し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を修正することといたしました。

(3) 第2四半期個別業績予想値との差異の理由

第2四半期個別業績につきましても、第2四半期連結業績と同様の要因により前回予想を下回りました。

(4) 通期個別業績予想の修正理由

通期につきましても、第2四半期の業績を勘案し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を修正することといたしました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上